CKD

SM-197975

取扱説明書

マイクロエレッサ
{マイクロノート形(油分除去用)}
1219

- 製品をお使いになる前に、この取扱説明書を必ずお読みください。
- 特に安全に関する記述は、注意深くお読みください。
- この取扱説明書は、必要な時にすぐ取り出して読めるように大切に保管しておいてください。

第２版
CKD株式会社

本製品を安全にご使用いただくために

本製品を安全にご使用いただくためには材料、配管、電気、機構などを含めた空気圧機器に関する基礎的な知識(日本工業規格　JIS B 8370　空気圧システム通則に準じたレベル)を必要とします。

知識を持たない人や誤った取扱いが原因で引き起こされた事故に関して、当社は責任を負いかねます。

お客様によって使用される用途は多岐にわたるため、当社ではそれらすべてを把握することができません。ご使用条件によっては、性能が発揮できない場合や事故につながる場合がありますので、お客様が用途、用法に合わせて製品の仕様の確認および使用法をよく理解してから決定してください。

本製品には、さまざまな安全策を実施していますが、お客様の誤った取扱いによって、事故につながる場合があります。そのようなことがないためにも、**必ず取扱説明書を熟読し内容を十分にご理解いただいたうえでご使用ください。**

本文中に記載してある取り扱い注意事項とあわせて下記項目についてもご注意ください。

⚠ 注意

- フィルタ、ルブリケータはプラスチックボウルを使用していますので、有機溶剤等の雰囲気では絶対に使用しないでください。ボウル破損の危険があります。有機溶剤の雰囲気ではメタルボウルをご使用ください。

- フィルタ、ルブリケータを保守・メンテ等される場合は、製品内の圧力を抜いて残圧が、完全に残っていないことを確認した後に実施してください。

目　　次

1219

マイクロエレッサ

取扱説明書No.　SM-252986

1.　注意事項 …… 1

2.　取付 …… 2

3.　操作方法 …… 3

4.　保守

4.1　定期点検 …… 4

4.2　故障と対策 …… 4

5.　消耗及び交換部品 …… 5

6.　ボウルの脱着方法 …… 6

7.　マントルの交換方法 …… 6

注：各頁、頁番号横のゴシックブラケットに入った記号番号及びイラスト近傍の記号番号(例 [C4-4PP07]・[V2-503-B] など)は本文と関係のない編集記号です。

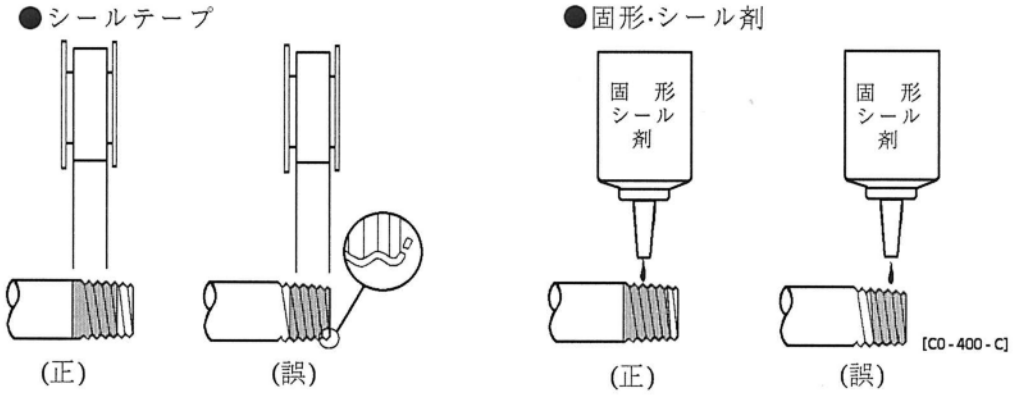
作成　1995.01.30

1. 注意事項

1) 製品仕様・形番表示については、カタログを参照ください。
2) 直射日光が当たる場所での使用は避けてください。
3) 使用圧縮空気の圧力は、1.0MPa以上にならないようにしてください。
4) 周囲温度が54℃以上になる所での使用は避けてください。
5) 次のようなガス物質が圧縮空気中に含まれていますとマントルが侵されたり、膨潤したりしますのでこのようなガス物質が圧縮空気中に入り込むところには使用しないでください。
   - 亜硫酸ガス
   - 塩素ガス
   - 高濃度オゾン
   - 芳香族炭化水素化合物類 (例. ベンゼン, トルエン, フェノール, シクロヘキサン等)
   - 塩素化炭化水素化合物類 (例. トリクロールエチレン, クロロホルム等)
   - ケトン類 (例. アセトン等)
   - アルデヒド類 (例. ホルムアルデヒト, アセトアルデヒド等)
   - アミン類 (例. エチルアミン, メチルアミン等)
6) ポリカーボネート樹脂を使用していますので、有機溶剤等の雰囲気中では絶対に使用しないでください。なお、ボウル材質により耐薬品性能が変わりますが詳しくはカタログ参照ください。

2. 取付

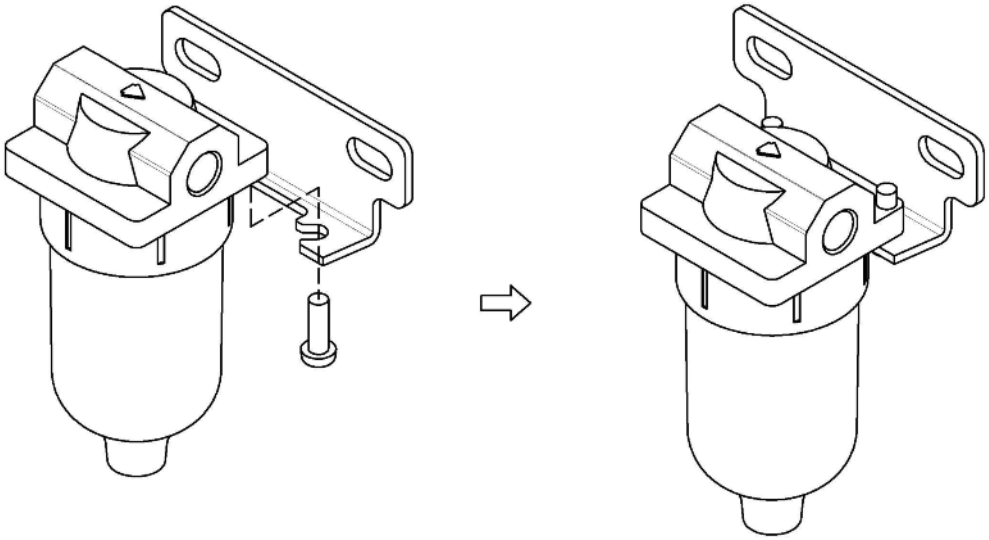
1) 使用される空気圧機器の出来るだけ近くに取付けてください。
2) マイクロエレッサの前には、必ずプレフィルタをご使用ください。
   プレフィルタとしては、エアフィルタ (5μm) か、またはサブミクロンフィルタ (0.3μm) をご使用ください。
3) エアーの流れが製品に表示されている矢印の方向になる様に取付けてください。
4) マイクロエレッサのボウルが下向きになる様に取付けてください。
5) 配管にはシールテープ又はシール剤を用いますが、ネジ先端から2山程控えて使用し、管内や機器内部にテープ屑やシール剤の残材が入りこまないように気を付けてください。



6) 配管の際、切削油や防錆油を必ず取り除いてください。

[SM-197975]

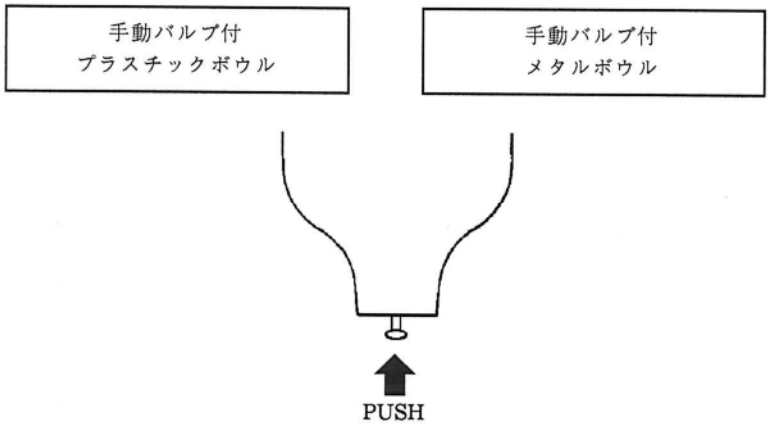
7）オプション添付ブラケットの取付は、ブラケットに添付されているスクリュウ（セルフタップねじ）を使用して取り付けてください。



8）操作・保守のためボウル下側には50㎜以上のスペースをとっておいてください。

3. 操作方法

1) ドレンの排出



バルブを下から上へPUSH ➡ 方向に押すとドレンが排出され解除すると止まります。

4. 保守

圧縮空気を止めて、手動バルブなどで残圧排出をし、製品内に圧力がないことを必ず確認してからボウルの取り外しを行ってください。

4.1 定期点検

1) ドレン上限以上にドレンがたまらない様に定期的にドレンを抜いてください。
ドレン排出方法については、前項を参照ください。

2) マントルは、圧力損失が生じない様定期的に交換してください。

● マントル{マイクロノート形(油分除去用)}

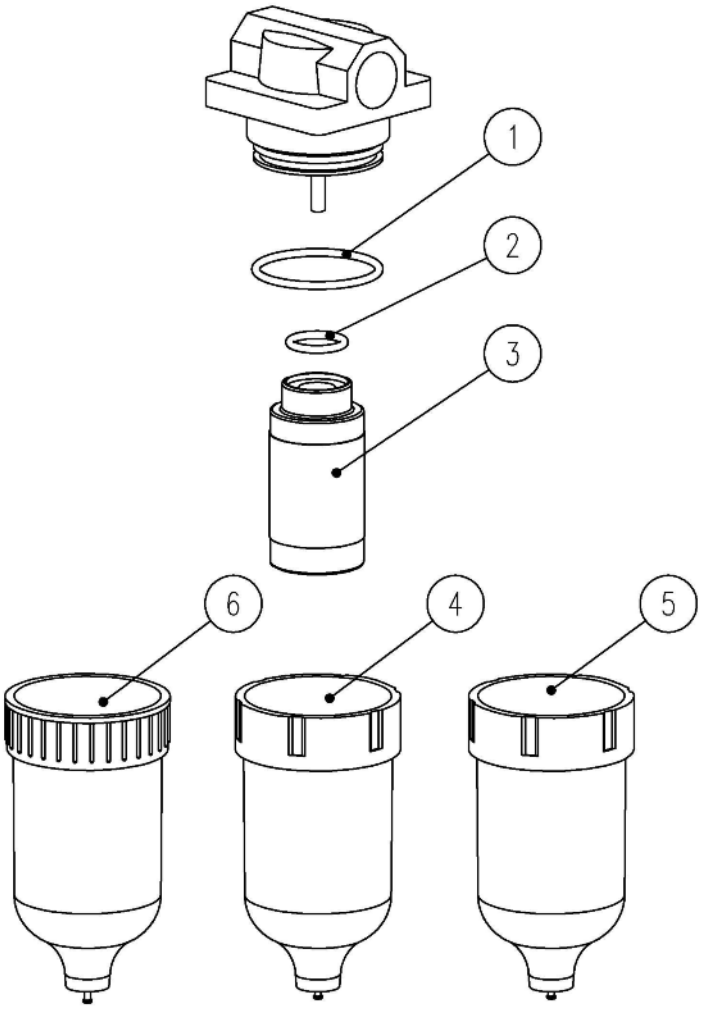
差圧が、0.07MPaとなった時が寿命です。この場合新品のマントルと交換してください。

（マントル形番：１２１９－ＭＡＮＴＬＥ－ＡＳＳＹ）

4.2 故障と対策

現　　象	主　要　原　因	対　　策
マイクロエレッサ・マイクロノート形の直後にドレンがでる。	ドレンがドレン上限位置をオーバーしている。	ドレンを排出する。 (3項操作に関する事項参照)
流量が流れない。圧力降下が大きい。	マントルの目詰まり。	圧縮空気を止めてボウルをはずし、マントルをはずし、マントルを新品と交換する。
ドレンバルブを開いてもドレンを排出しない。	異物の排出ポートへのつまり。	圧縮空気を止めて、ボウル組立をはずし、ボウル組立を清掃又は新品と交換する。
ボウル取付部より空気が漏れる。	Oリングにキズがある。又は異物の附着。	圧縮空気を止めてボウルをはずしOリングを清掃又は新品と交換する。
	ボウルの破損。	圧縮空気を止めて、ボウルをはずしボウルを新品と交換する。

5. 消耗及び交換部品



[M]　　[無記号]　　[Z]

部品名	部品形番	番号	数量
消耗部品キット	1219-KIT	①、②、③	各1個
マントル組立	1219-MANTLE-ASSY	②、③	各1個
ボウル組立（無記号）	A1019-BOWL	①、④	各1個
ボウル組立（Z）	A1019-BOWL-Z	①、⑤	各1個
ボウル組立（M）	A1019-BOWL-M	①、⑥	各1個
Oリング※1セット5個	A1019-ORING	①	5個

6. ボウルの脱着方法

圧縮空気を止めて手動バルブなどで残圧排出をし、製品内に圧力がないことを必ず確認してからボウルの取り外しを行ってください。

1) ボウルを左回転(反時計芳香)させ、ネジ部が完全に抜けるまで、回します。
2) そのまま下方に引き抜けば、ボウルが外せます。
3) 組付ける時は、外す時の逆の要領で行います。
4) 圧縮空気を入れる前に、ボウルが確実にネジ込まれていること(ボディとボウルとのスキマが無い状態)を確認してから入れてください。

7. マントルの交換方式

1) 6項によりボウルを外します。
2) マントルを反時計方向(左回転)に回し取外す。

注意 1 マントルの脱着には、下部エンドプレートの六角穴を利用するか下部エンドプレートの側面を使って実施してください。

2 マントルの脱着時、マントルのプラスチックフォーム層(スポンジ状)には、絶対に触れないでください。性能低下します。

3) 新しいマントルを取付ける。
4) マントル・ボウルを組付ける時は、外す時の逆の要領で行います。
5) 圧縮空気を入れる前に6-4項を必ず実施してください。